

## 輸出地金、スクラップととも減少

### 生産は圧延品、二次合金とも振るわず

橋本健一郎氏リポート②

#### ■国際概況

三月前半は、中国政府、成長鈍化に歯止めをかけるため、減税やインフラ支出の計画を発表、中国が製造業の減税含めた景気刺激策を発表したことなどのプラス材料もあったが、中国メディア財新が一日発表した二月製造業 PMI は三か月連続好不況判断節目の五〇を割り込んだこと、ECB が欧州経済の見通しを一・七から一・一％に下方修正したなどを嫌気し LME アルミ相場は DOWN、三月十五日時点で一・八七三・五ドル(セツル)と月初価格から一九・五ドル DOWN の前半締めとなった。

後半はブラジルはノルスクハイドロ社と政府との製造ラインに関する問題が紛糾しており、ノルスク社、アルノルテ精錬所(アルミナ)の稼働率がさらに低下する懸念が生じていること、中国の三月の製造業 PMI が予想外に成長を示したほか、米国の ISM 指数や二月の建設支出、一月の企業在庫が市場予想を上回り世界経済悪化懸念が後退しなどのプラス材料もあったが、ノルウェーアルミメーカー、ノルスクハイドロが、直近のサイバー攻撃で約四、〇〇〇万ドルの直費支出を余儀なくされ、第三者にブラジル・アルノルテアルミナ精錬所再開の査定を委託している。米コンファレンスボード消費者信頼感指数は二二四・一、事前予想は一三二・五、前回は一三三・四、二月の住宅着工件数は一一六・二万件、予想の一二二万件を下回ることを嫌気し LME アルミ相場は DOWN、四月三日現在、後半スタート価格から一〇・五ドル DOWN の一、八五八ドル。

#### ■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)  
一一・八七→一一・三六(円)。

#### ◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、一月の自動車生産台数は前年比七％増の七九万〇、一一四台であった。輸出は四一万七、二八台で前年同月比〇・一％増。

#### ◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、三月の自動車販売台数(軽除く)は前年比四・七％減の四一万七、三三三台。

◆新設住宅着工件数推移  
平成三十一年二月の住宅着工戸数は

七万一、九六六戸で、前年同月比四・二％増となった。また、季節調整済年率換算値では九六・七万戸(前年比一〇・九％増)となった。

#### ◆貿易関連指標

輸出  
財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比三三・三％減の八六 t、二次合金が〇・四％増の一、四五九 t、スクラップが八・二％減の八、八〇九 t、アルミ缶が二一・五％増の六、七三五 t。

#### 輸入

輸入は新地金が前年比一七・八％減の一〇万七、〇八二 t、二次合金が一・四％減の八万六、九七四 t、スクラップが五・六％減の七三五 t、合金スクラップは二五・九％減の三、〇七二 t。

#### ■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比三・四％減の一五万七、〇九二 t。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比二・六％減の六万五、六九七 t であった。

#### ■国内概況まとめ

##### 【自動車】

日本自動車工業会によると、一月の自動車生産台数は前年比七％増の七九万〇、一一四台であった。輸出は四一万七、二八台で前年同月比〇・一％増。

##### 【販売】

日本自動車販売協会連合会によると、三月の自動車販売台数(軽除く)は前年比四・七％減の四一万七、三三三台。

このうち、乗用車は五・七％減、貨物車は一・九％増、バスは五・四％減。

##### 【住宅】

・平成三十一年二月の住宅着工戸数は七万一、九六六戸で、前年同月比で四・二％増となった。また、季節調整済年率換算値では九六・七万戸(前年比一〇・九％増)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で三カ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、分譲住宅は増、貸家は減となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。(六面へ続く)

# スクラップメーカーのスクラップの購入意欲薄いか

(四面より続く)

## 【アルミ圧延・押出品生産数量】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比三・四%減の一五万七、〇九二tと一四カ月連続マイナス。

このうち、板類は九万三、三五一tで六・〇%減と二四カ月連続でマイナス、押出類は六万三、七四〇tで〇・七%増と三カ月ぶりプラス。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

生産は前年比二・六%減の六万五、六九七tと二カ月連続マイナス。出荷は三・一%減の六万六、三〇五t。

## 【輸出】

アルミ新地金が前年比三三・三%減の八六六t、二次合金が〇・四%増の一、四九九t、スクラップが八・二%減の八、八〇九t、アルミ缶が二・五%増の六、七三三t。

## 【輸入】

アルミ新地金が前年比一七・八%減の一〇万七、〇八二t、二次合金が一・四%減の八万六、九七四t、スクラップが五・六%減の七三、五七t、合金スクラップが二五・九%減の三、〇七一t。

## 【見通し】

・自動車は生産が七%増。国内販売台数が前年比四・七%減。

生産は再びプラス。生産はプラスだが販売はマイナスであり、今後注視。

・平成三十一年二月の住宅着工戸数は七万一、九六六戸で、前年同月比四・二%増となった。また、季節調整済年率換算値では九六・七万戸(前月比一〇・九%増)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で三カ月連続の増加となっており今後に期待

## ・アルミ圧延・押出品生産数量

板類・押出生産合計は前年比三・四%減と、一四カ月連続マイナス。

このうち、板類は九万三、三五一tで六・〇%減と二四カ月連続でマイナス、押出類は六万三、七四〇tで〇・七%増と三カ月ぶりプラス。

今後更に生産のマイナスが続くかの動向に注視。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績

生産は前年比二・六%減の六万五、六九七tと二カ月連続マイナス、出荷は三・一%減の

六万六、三〇五t。

今後マイナスが続くかの動向に注視。

・アルミ輸出は、地金シフトに伴うスクラップ需要の低迷からスクラップは減少、缶は増加。

・アルミ輸入は国内製造業の生産停滞、減少から減少。

## 【スクラップ景況予想】

流通在庫は大型一〇連休前のリスク売り利益確定売りが出てくるのではないかと?

需要面に関しても安価の輸入塊があり、スクラップの購入意欲は薄いのではないかと?

## 【LME・為替予想】

今月も米中貿易戦争の動向と英国の離脱問題の動向に左右される。

米中貿易に関しては、米国でもPMIの製造業指数が一年九カ月ぶりの水準に下げるなど、景気後退の兆候が見られることや、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表とムニューシン米財務長官が訪中し、二十八日に米中の閣僚級協議が再開されたこと、IMFのラガルド専務理事が「世界経済は成長の勢いがさらに失われた」と述べ、来週公表する最新見通しで今年の成長率を従来の三・五%から下方修正することを示唆したことなどをを受けて米中が歩み寄る可能性が出てくるのではないかと?

英国の離脱問題に関しては、欧州連合(EU)に対し離脱交渉期限の延長を要請することを明らかにした。また、議会の膠着状態からの脱却に向け野党・労働党のコービン党首と協議する意向も示したことからこちらも一旦は先延ばしになったのでは?

これらを踏まえた二月のアルミ価格は一、八〇〇〜二、〇〇〇ドル。

スクラップ購入価格に関しては五円安〜横バイ程度と予測している。

## ◇COMEX銅在庫

四日 四万一、四二五トン  
七、七九トン減

## ◇KLTMすず相場

五日 二一・一八〇 米ドル  
四一 トン

## ◇東工取(五日前引、限月四月)

金 四、六三一  
銀 五四・三  
白金 三、一九〇  
パラジウム 出来ず  
円 円 円 円